

東日本大震災による南相馬市の被害

(1) 震災・被災等の概況

- 3月11日 14:46 震度6弱の地震発生
- 3月11日 15:35頃 津波到達
- 3月12日 5:44 福島第一原子力発電所から半径10km圏内の住民に避難指示
- 3月12日 18:25 福島第一原子力発電所から半径20km圏内の住民に避難指示
- 3月15日 11:00 福島第一原子力発電所から半径20km以上30km圏内の住民に外出せず、自宅など屋内待機を指示
- 3月15日～17日 市がバスで市内の避難所から市外に避難を誘導(1,939人)
- 3月18日～20日 市がバスで集団避難を誘導(2,725人)
- 3月25日 市がバスで集団避難を誘導(142人)
- 4月21日 11:00 福島第一原子力発電所から半径20km圏内を警戒区域に指示(4月22日0:00警戒区域に設定)
- 4月22日 9:44 福島第一原子力発電所から半径20km以上30km圏内に指示していた屋内退避を解除、計画的避難区域及び緊急時避難準備区域を設定

(2) 南相馬市の現況

小高区と原町区の南側一部(概ね107k㎡)が20km圏内の警戒区域、残りの原町区と鹿島区の一部(概ね181k㎡)が30km圏内の計画的避難区域及び緊急時避難準備区域、残りの鹿島区(概ね111k㎡)が30km圏外となっています。

福島第一原子力発電所の事故を受け、本市では、バスでの集団避難や自主避難により、多くの市民に群馬県片品村・草津町・東吾妻町、新潟県長岡市・上越市・三条市・小千谷市などに避難していただきました。

その後も自主的な避難が続き、市では3月26日頃の人口を、1万人程度と見込んでいました。しかし、自主的に避難された方の情報が不足していたため、正確な数は把握できませんでした。

現在では、市内で計測している放射線の測定値が下がり安定していること、ほぼ市内全域で電気・水道が使えること、緊急時避難準備区域、計画的避難区域に変更され、屋内退避が解除されたことから、多くの市民が避難先から戻ってきています。

■ 市民の所在確認状況(平成23年6月25日現在)

	住民基本台帳人口 (平成23年2月28日)	市内居住者	市外避難者	所在不明者 (死亡者を含む)
小高区	12,834人	2,497人(230人)	10,085人(2,306人)	252人
鹿島区	11,610人	8,009人(66人)	2,631人(564人)	970人
原町区	47,050人	23,995人(54人)	19,681人(4,215人)	3,374人
合計	71,494人	34,501人(350人)	32,397人(7,085人)	4,596人

()は避難所入所者

(3) 被害の状況

1) 人的被害(平成23年6月30日現在)

- ①死者 588人
- ②行方不明者 87人
- ③負傷者 59人
(重傷者2人、軽症者57人)



地震による被害(小高区)

2) 家屋被害(平成23年5月31日現在)

津波被害家屋世帯数 1,509世帯

	全世帯数	被害世帯数	全壊	大規模半壊	半壊	床下浸水
小高区	3,771世帯	463世帯	318世帯	31世帯	65世帯	49世帯
鹿島区	3,460世帯	495世帯	411世帯	13世帯	41世帯	30世帯
原町区	16,667世帯	551世帯	435世帯	36世帯	53世帯	27世帯
合計	23,898世帯	1,509世帯	1,164世帯	80世帯	159世帯	106世帯

3) 津波被害面積(平成23年4月8日現在)

	地区	津波被害面積(k㎡)
小高区	塚原～角部内地区	5.6
	井田川～浦尻地区	4.9
	小計	10.5
鹿島区	八沢地区	5.0
	南海老～烏埼地区	10.8
	小計	15.8
原町区	金沢・北泉地区	1.6
	泉～雫地区	9.1
	小浜～小沢地区	3.8
小計	14.5	
合計		40.8

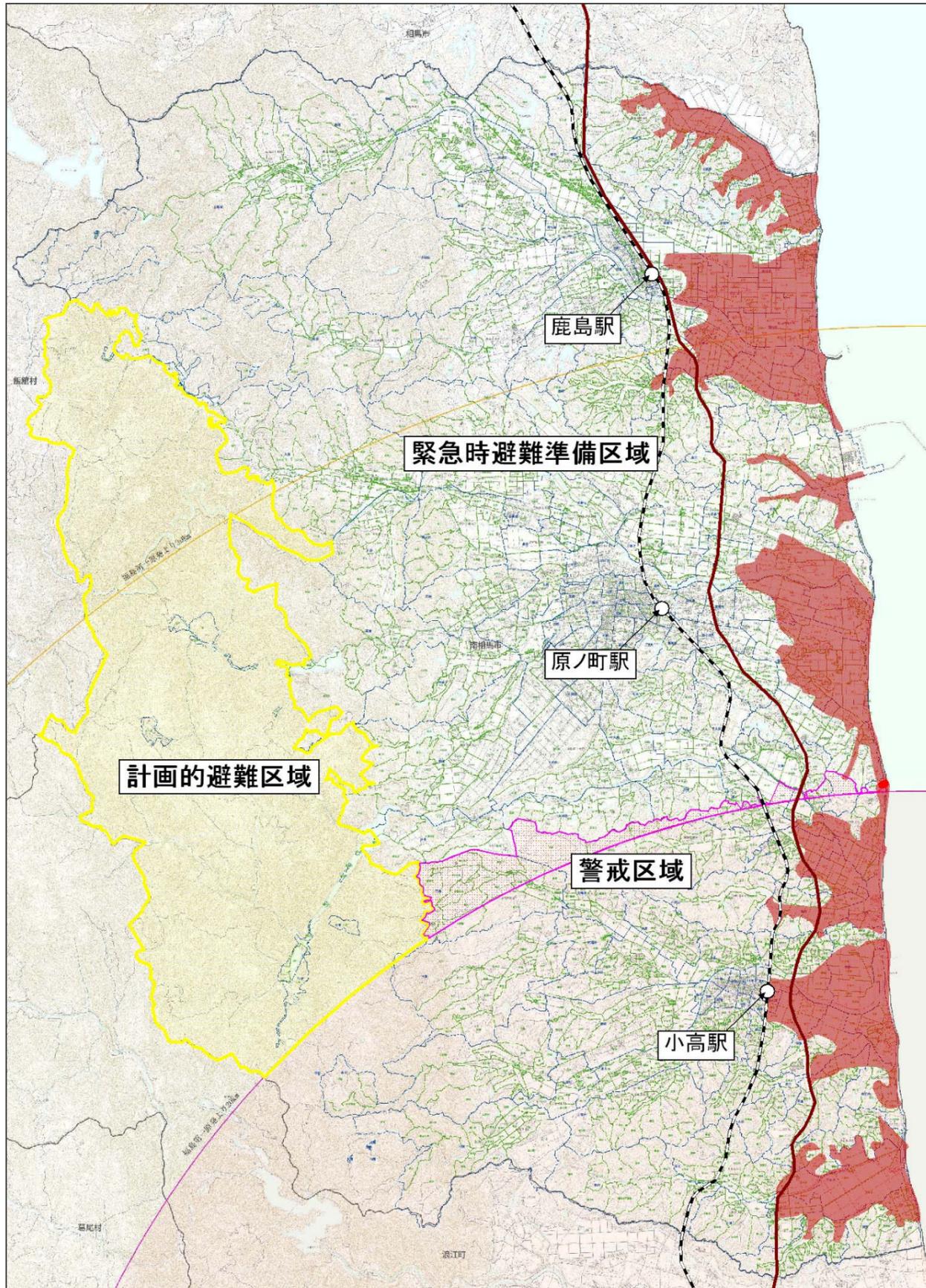
4) 環境放射線モニタリング

市では、5月1日から市内26地点で独自に大気中放射線量を測定しています。現在は、計測地点を38地点に増やし、多くの地点で1マイクロシーベルト/時間を下回っています。

ただ、政府基準の20マイクロシーベルト/年に相当する3.8マイクロシーベルト/時間を越える箇所はありませんが、一部では高い値を示している計測地点もあることから引き続き計測を行うとともに、政府に対して適切な対応をとるよう要望しています。



■ 東日本大震災による津波被災状況



■ 環境放射線モニタリング結果（平成 23 年 6 月 30 日測定値）

【鹿島区】

（単位：μSv/h）

測定場所	鹿島小学校校庭	鹿島区役所	かしま保育園園庭	さくらホール駐車場	鹿島中学校校庭	八沢小学校正門
測定値	0.65	0.33	0.53	0.47	0.83	0.39

測定場所	上栢窪停留所付近	前川原体育館出入口付近	国道6号線横手待避所付近	御山橋付近	上真野小学校校庭	大日橋付近
測定値	1.11	0.33	0.43	0.87	0.59	0.55

測定場所	デイリーヤマザキ鹿島小池店付近	立見石橋中央付近	榎原公民館付近	児頭滝橋付近	坂下橋付近
測定値	0.68	0.99	1.88	2.09	3.41

【原町区】

（単位：μSv/h）

測定場所	松栄高校付近	太田生涯学習センター	日立建機予定地付近	陣ヶ崎二ごみ集積所付近	矢川原公会堂	片倉公会堂
測定値	0.76	0.75	0.47	1.14	1.07	1.94

測定場所	岡田商店付近	馬場バス転回所付近	地切溜池付近	字杉内境界T字路交差点付近	押釜集落センター駐車場	石神第二小学校校庭
測定値	1.15	2.36	2.03	1.39	1.82	1.22

測定場所	高倉公会堂付近	電柱高の倉線36号付近	大谷共同墓地付近	ドライブイン大原付近	木戸内橋付近	石神第一小学校校庭
測定値	3.05	2.43	2.52	3.25	0.97	1.11

測定場所	北新田運動場	高平小学校校庭	青田酒店交差点付近
測定値	0.70	0.50	0.52

※1 鹿島区、原町区は、南相馬市による実施結果

※2 測定値は地上1mの値

【小高区】（出典：文部科学省ホームページ）

（単位：μSv/h）

測定場所	大井 (北16km)	片草 (北北西18km)	泉沢 (北北西14km)	行津 (北北西11km)	大富 (北北西19km)	神山 (北北西13km)
測定値	0.6	1.0	0.5	0.6	2.5	1.8

※1 測定日：平成23年6月23日

※2 () は福島第一原子力発電所からの距離

(4) 生活関連の状況

1) 小売店等

3月26日頃までは、生活物資がほとんど入ってこない状態が続いていましたが、小売店やコンビニエンスストアが早期に営業を再開したことで、食料品は一定程度確保できるようになりました。また、4月頃からスーパーも再開し始め5月に入り、一部のコンビニエンスストアでは24時間営業を再開したところもあります。



2) 燃料

ガソリンをはじめとする燃料は、通常に給油できるようになりました。

3) 医療・福祉(平成23年6月28日現在)

震災以降、原町区における医療は外来診療のみの状況でしたが、現在は4箇所の病院で205床の入院受入ができる状況にあります。

		病院	病床数			計	診療所
			一般	療養	精神		
小高区	震災後(震災前)	0(2)	0(48)	0(51)	0(104)	0(203)	0(7)
鹿島区	震災後(震災前)	1(1)	40(40)	40(40)	—	80(80)	2(3)
原町区	震災後(震災前)	4(5)	205(607)	0(185)	0(254)	205(1,046)	25(29)
合計	震災後(震災前)	5(8)	245(695)	40(276)	0(358)	285(1,329)	27(39)

4) 流通

郵便局は、津波の被害を受けた局を除いて本格的に業務を再開し、郵便物の集配も再開されました。宅配便も営業を再開しています。

5) 上水道・下水道

原町区の水道は、ほぼ給水可能な状況です。鹿島区の水は、津波被災地(概ね国道6号の東側)以外の給水は、ほぼ可能な状況です。原町区下水道は、市民居住地区は、ほぼ使用可能な状況です。鹿島区下水道は、ほぼ使用可能な状況ですが一部緊急対応となっています。



6) 電気

市民が居住している地区は、ほぼ通電されている状況です。

7) その他

- 仮設住宅の入居申込みは一次・二次募集が終了し、5月28日から入居が開始されました。また、三次募集が6月30日まで行われています。

仮設住宅		備考	民間借上げ住宅		備考
建設予定戸数	2,500戸	福島県へ要望数	一次募集戸数	130戸	福島市:100戸, 郡山市:30戸
完成戸数	910戸	一次、二次の合計	一次応募世帯数	268世帯	
申込者数	3,055世帯	一次、二次の合計	一次入居世帯数	28世帯	
入居戸数(カギ渡し済)	585戸	一次(383戸) 二次(202戸)	二次募集戸数	50戸	郡山市(50戸)
			二次応募世帯数	34世帯	
			二次入居世帯数	12世帯	

- 県・国の義援金の配分は、4月28日まで地区ごとに申請を受け付け、5月10日から毎週火曜日に振込みをしています。申請は、現在も受け付けています。

(5) 教育関連の状況

1) 保育園・幼稚園(平成23年6月22日現在)

保育園(所)は、5月6日から、かしま保育園、かみまの保育園は臨時開園し、私立の聖愛保育園、北町保育所、よつば保育園は寺内公会堂で臨時開園しました。

幼稚園は、6月1日から鹿島幼稚園、上真野幼稚園が臨時開園し4歳児、5歳児の保育をしています。

■ 保育園・幼稚園児数

・保育園・幼稚園の園児数は、市全体で保育園約2割、幼稚園約1割まで大幅に減少。

保育園名	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	H23.3.1園児数	割合
公)かしま保育園	13	12	22	25	22	30	124	138	89.9%
公)かみまの保育園		6	7	6	5	7	31	41	75.6%
私)寺内公会堂臨時保育園	6	10	8	5	8	15	52	107	48.6%
合計	19	28	37	36	35	52	207	952※	21.7%

※H23.3.1園児数の合計値は市内全ての保育園園児数

幼稚園名	3歳児	4歳児	5歳児	合計	H23.3.1園児数	割合
公)鹿島幼稚園	—	46	54	100	80	125.0%
公)上真野幼稚園	—	17	30	47	39	120.5%
合計	0	63	84	147	1,238	11.9%

※H23.3.1園児数の合計値は市内全ての幼稚園園児数

2) 小学校・中学校(平成23年6月20日現在)

小・中学校は、30km圏外の鹿島小、八沢小、上真野小、鹿島中のほか、前川原体育館、鹿島農村環境改善センターの施設を使い、4月22日に再開しました。

■ 小学校の児童数

- 小学生は、震災後、小高区で13.7%まで大幅に減少、鹿島区は70.2%、原町区は31.8%となっており、市全体で34.5%まで児童数が減少。

区	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援	合計	H23児童推計	割合
小高区(公立4校)	12	19	12	18	15	20	3	99	722	13.7%
鹿島区(公立4校)	53	74	67	70	76	90	9	439	625	70.2%
原町区(公立8校)	118	118	139	138	165	169	16	863	2,712	31.8%
合計	183	211	218	226	256	279	28	1,401	4,059	34.5%

■ 中学校の生徒数

- 中学生は、震災後、小高区で18.6%まで大幅に減少、鹿島区は80.6%、原町区は46.3%となっており、市全体で47.1%まで生徒数が減少。

区	1年	2年	3年	特別支援	合計	H23生徒推計	割合
小高区(公立1校)	16	15	33	0	64	344	18.6%
鹿島区(公立1校)	82	89	87	3	261	324	80.6%
原町区(公立4校)	164	188	237	10	599	1,294	46.3%
合計	262	292	357	13	924	1,962	47.1%

※小学生・中学生の平成23年推計値は3月11日現在の児童数・生徒数から推計

(6) 事業所関連の状況

1) 事業所実態調査

4月22日に屋内退避が解除されたことを受け、事業所の再開が進んできましたが、調査では約45%の事業所が休業状態であり、従業員が約40%減少しているという結果でした。

2) 企業の状況

警戒区域から操業可能な機器を運び出し、操業開始した企業や、操業再開に向け製造機器の整備点検を進める企業が出始めるなど、震災前の状況に戻りつつあります。

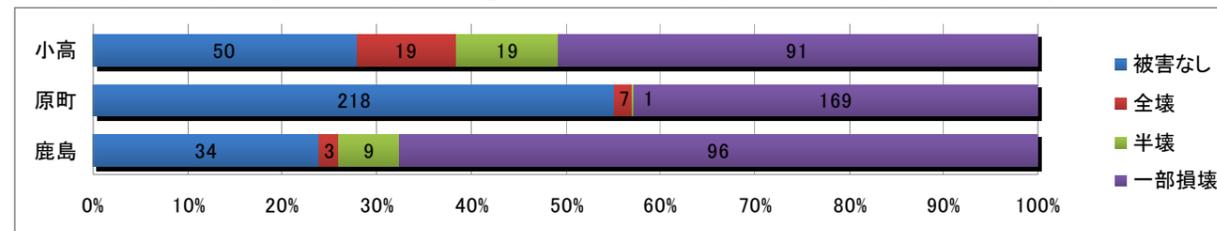
3) 求人の状況

企業の操業は再開され始めたものの、働き手不足からフル生産できない企業もあり、ハローワーク相双を通じて新規の求人募集がされるようになりました。

■事業所実態調査結果（平成23年5月末 南相馬市調査：全716事業所回答）

□建物被害状況

・全半壊一部損壊をあわせると、鹿島区は76%、原町区は45%、小高区は73%。



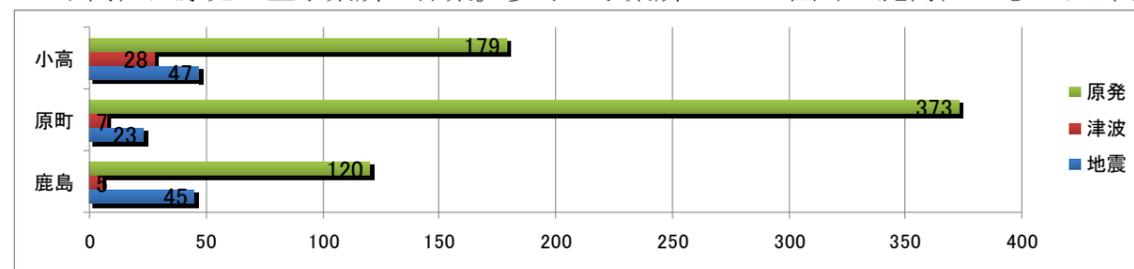
□休業の有無



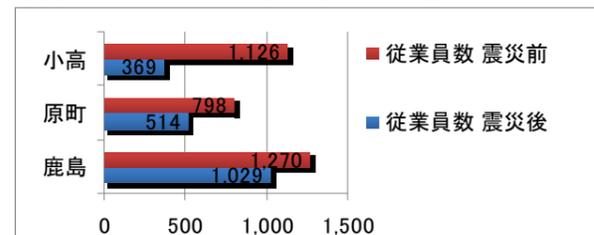
・市全体で93%の事業所が休業期間あり。
※休業は震災後の一時的な休業も含む

□休業の理由

・休業理由は、地震が16%、津波が6%。一方で原発を理由とした休業が94%に上る。
・小高区は原発で全事業所が休業。多くの事業所が30km圏外の鹿島区でも85%と高い。



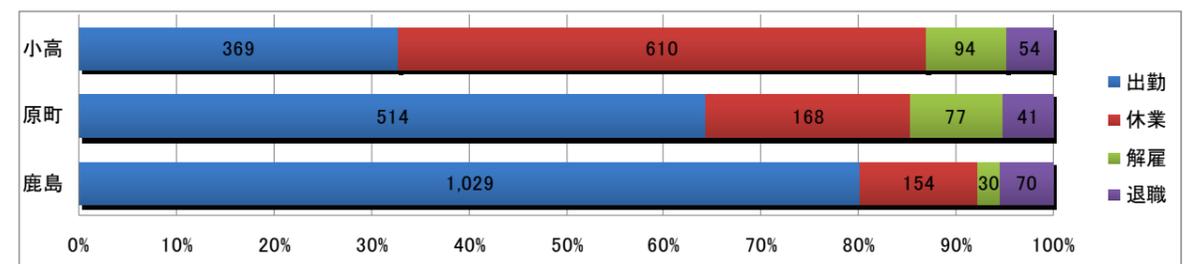
□各事業所における従業員の出勤状況



・震災前後で、各区事業所での就業者の出勤状況は、小高区は67%減、原町区は36%減、鹿島区は20%減であり、市全体で40%減少。

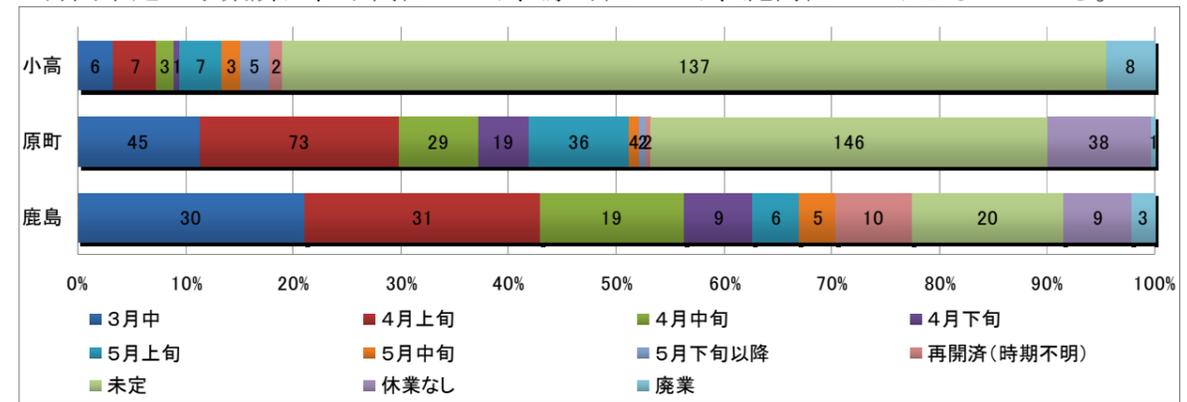
□各事業所における従業員の雇用状況

・従業員の雇用状況は、小高区では出勤者が約3割にとどまり、原町区で約6割程度、鹿島区では約8割が出勤状態にある。

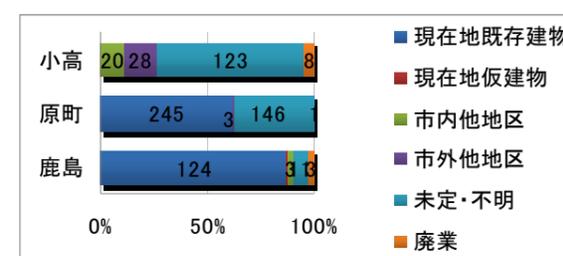


□各事業所の再開状況

・震災後、一時は市内の約9割の事業所が休業状態にあったが、調査実施時点の5月末時点で再開済の事業所は全体で55%となっている。
・再開未定の事業所は、小高区で77%、原町区で37%、鹿島区で14%となっている。



□各事業所の再開場所



・原町区と鹿島区は現所在地での事業再開が多いが、小高区は27%が既に区外での営業再開を始めている。
※「現在地既存建物」から「市外他地区」までは既に再開している事業所となる

■ 被災状況



津波到達時(鹿島区)



国道6号小島田付近(鹿島区)



家屋流失(鹿島区)



真野小学校浸水(鹿島区)



鉄塔倒壊(原町区)



家屋倒壊(原町区)



大田川常磐橋(原町区)



新田川(原町区)



北泉海浜公園(原町区)



金沢川(原町区)



津波冠水(小高区)



集落流失(小高区)



国道6号(小高区)



市道 片草・菖蒲沢線(小高区)



市道 仲町・小屋木線(小高区)



市道 蛭沢・塚原線(小高区)